

一般会計予算決算常任委員会
理科大分科会記録

平成30年12月7日

【開催日】 平成30年12月7日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時29分

【出席委員】

分科会長	高松秀樹	副分科会長	藤岡修美
委員	奥良秀	委員	笹木慶之
委員	中村博行	委員	松尾数則
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部】

副市長	古川博三	大学推進室長	大谷剛士
大学推進室副室長	榎坂昌歳	大学推進室技監	泉本憲之
大学推進室室長補佐	山本玄	大学推進室主任主事	尼崎幸太

【事務局出席者】

局長	中村聡	議事係長	中村潤之介
----	-----	------	-------

【付議事項】

- 1 議案第91号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)について (理科大分科会所管分)

午前10時 開会

高松秀樹分科会長 皆さんおはようございます。ただいまより、一般会計予算決算常任委員会理科大分科会を開催します。本日は、議案第91号平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)についてです。それ

ではまず執行部からの説明をお願いします。

大谷大学推進室長 議案第91号平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）に係る大学費関係分について御説明します。まず、歳出から御説明しますので、補正予算書の30ページ、31ページをお開きください。また、当該議案の参考資料としまして、参考資料①、②をお配りしていますので、こちらも御確認ください。参考資料①については、補正前の金額、補正額、補正額の財源の内訳、補正後の金額をお示ししています。また、②については、工事費等に係る債務負担行為の関係についての説明資料となります。2款総務費、7項大学費、1目大学費について、3節職員手当等を100万円、25節積立金を250万円増額するとともに、13節委託料を866万円、15節工事請負費を2億2,427万3,000円減額するものです。これにより、補正前の額25億6,144万5,000円を2億2,943万3,000円減額し、補正後の額を23億3,201万2,000円とするものです。このたびの補正の具体的な内容ですが、まず、3節職員手当等の100万円の増額については、大学施設整備事業に伴う関係職員の時間外勤務手当を増額するものです。これにより、補正前の額70万円が、補正後に170万円となります。次に、13節委託料の866万円及び15節工事請負費2億2,427万3,000円の減額については、現在実施しています工事の進捗状況から今後計画をしております工事の実施時期等を勘案した結果、工事の実施時期等の見直し等を行ったことによるものです。このたびの補正により、13節委託料については、補正前の額1,787万6,000円が、補正後は921万6,000円に、15節工事請負費については、補正前の額7億972万6,000円が、補正後は4億8,545万3,000円となります。各節の具体的な内容について御説明します。まず、13節委託料については、防球フェンス設置のための地質調査業務及び設計業務を今年度行うこととし、予算措置をしていましたが、これをグラウンド及びテニスコートの設計業務と併せて実施することとしました。これにより、地質調査委託料の595

万2,000円と設計委託料の128万4,000円を減額し、新たに調査設計委託料として390万円を計上しています。なお、この調査設計委託料については、平成30年度、平成31年度の2か年にわたり実施することとしていますので、このたび、債務負担行為の補正をさせていただきます。事業費の総額は、1,300万円を見込んでおり、平成30年度予算としましては前払相当額として390万円を計上し、残りの910万円については、債務負担行為として設定しています。次に、調査委託料32万4,000円の減額については、薬学部校舎建設事業に係る電波障害の影響について、今年度、調査を行うこととして予算措置をしていましたが、今後、グラウンド及びテニスコートの整備を行う中で、防球ネットの整備を行うこととしていますので、これらの工事完了後に実施することとしたことによるものです。監理委託料500万円の減額については、繰越明許費にて対応しましたので、不執行となったものです。次に、15節工事請負費については、今年度予定しておりました校内薬用植物園と外構整備工事の一部を不執行とするとともに、駐輪場の整備工事と管理棟及び温室の建物を除く校内薬用植物園等の外構整備工事を、平成30年度と平成31年度の2か年で実施することとしました。これにより2億2,427万3,000円の減額となったものです。なお、駐輪場及び外構整備工事については、平成30年度は前払相当額のみを計上し、残りは債務負担行為として設定することとし、このたび、債務負担行為の補正をしています。最後に、25節積立金250万円の増額については、団体・企業から山口東京理科大学の発展に寄与することを目的とした指定寄附を頂いたもので、これを公立大学法人の健全な運営等を支援するために市が設置しました公立大学法人運営基金に積み立てるものです。このたびの補正により、補正前の額1億2,562万9,000円が、補正後1億2,812万9,000円となります。頂いた寄附金の内訳については、メスキュード医療安全基金様から150万円、株式会社ライジングホールディングス様から100万円となっております。なお、メスキュード医療安全基金様からの寄附金については、平成28年度に100万円、平成29年度に50万円を

頂いたもので、本来であれば、平成28年度の寄附金100万円については、昨年度に補正を行わなければなりませんでしたが、手続を行っておらず、このたび、補正をお願いすることとなりました。事務処理に遺漏があり、誠に申し訳ありません。続いて、歳入について御説明します。補正予算書の14ページ、15ページをお開きください。17款寄附金、1項寄附金、4目総務費寄附金、1節総務費寄附金、総務費寄附金を7,239万2,000円増額していますが、このうちの100万円を計上しています。これは、株式会社ライジングホールディングス様から山口東京理科大学薬学部の開設に伴い、広くその発展に寄与することを目的に頂いた指定寄附金です。当該寄附金については、歳出で御説明しましたが、このたびの補正により公立大学法人運営基金に積み立てることとしております。続いて、補正予算書16ページ、17ページをお開きください。21款市債、1項市債、1目総務債、2節大学債、大学校舎整備事業債を1億8,770万円減額しております。これは、歳出で御説明しましたが、整備事業の見直し等によるもので、このたびの補正により、補正前の額6億7,810万円が、補正後4億9,040万円となります。最後に、債務負担行為補正について御説明しますので、補正予算書7ページをお開きください。山口東京理科大学薬学部校舎建設事業としまして、期間を平成31年度、限度額7,870万円を設定するものです。事業の内容については、調査設計業務、駐輪場整備工事、外構整備工事を行うものです。当該事業の総事業費は1億2,900万円で、平成30年度が5,030万円、平成31年度が7,870万円となっています。以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしく申し上げます。

高松秀樹分科会長 室長、資料2枚目の説明はいいですか。

大谷大学推進室長 済みません。参考資料の②です。こちらについては、ただいま御説明しました債務負担行為の関係を表と図でお示しをしています。このたび、債務負担行為については、一番上の表、工程表のグラウンド・

テニスコートの整備、これは調査設計業務委託料。二番目の外構整備、これは薬学部校舎東側と薬草園の整備になります。そして三つめは駐輪場の整備工事です。この1、2、3の工事については、下の図の赤で塗ってあるところになります。図の一番上のところが駐輪場になります。真ん中のちょっと右側が薬草園、そのちょっと左側が外構となります。こちらのほうが来年の1～2月に起工・入札を行い、3月からそれぞれの工期を掛けて整備を行おうとするものです。なお、四番目に薬草園管理棟・温室整備（工事）で未定となっています。本来であれば薬草園の整備と一緒に工事の実施を計画していましたが、昨今の北海道の地震の関係で高力ボルトが品薄となっていて、通常であれば2か月程度ぐらいで入るものが、新聞等の情報によると半年以上掛かるという状況になっていて、業者のほうに確認してみたところ、工期がそれでいくと不確かですが13か月ぐらい掛かるのではないかとということで、まだちょっと先行きが見込めませんので、この整備については状況が分かり次第、また予算措置等を行いたいと考えているところです。今のところ、債務負担行為を取っているのはグラウンド・テニスコートの整備の調査設計業務と、東側の外構整備と、薬草園の建物が間に合わないということでそれを除いた整備をするということになります。あとは駐輪場となります。

高松秀樹分科会長 執行部からの説明が終わりました。委員からの質疑を求めます。

山田伸幸委員 電波障害の件なんですが、既にテレビが入りにくいという問題は、竜王山の電波組合のほうに接続をして問題ないと思っているんですが、それとは別にまた独自にアンテナ等を整備しようとしてこのようなことをされているのかどうなのか。

大谷大学推進室長 山田委員からの御質問のとおり、当初A棟とB棟を建てる時に、電波障害が発生しテレビの映りが悪くなったという苦情があり

まして、その関係で赤崎の共同アンテナへ接続させていただいて、その工事が終わった後に、クレーンの影響じゃないかということもちょっと言われていましたので、工事が終わった後に再度電波障害があるかないかの調査を行って、なければそのアンテナを取り除こうと考えておったんですが、まだグラウンド整備等で防球フェンス等の工事が残っていますので、その防球フェンスを設置した後に電波障害の影響が出ているか出ていないかを調査して、出ておればそのまま継続して共同アンテナの接続となろうかと考えております。

山田伸幸委員 今の障害について言えば、工事中ということもあったんだろうと思うんですけど、今後いろいろな工事がまだ続いていくわけで、当該過程にそういう付け替えと、もし校舎の影響でということになると、校舎のほうにアンテナを立ててそちらにつなぐということを考えているんですか。そうではなくて単に調査だけということなんですか。

大谷大学推進室長 電波障害の影響が残るようであれば、現状の共同アンテナにつないだままと考えています。

吉永美子委員 確認させていただきます。職員手当等で補正前が70万円ということで、今回その70万円以上に補正をすることになったわけですがけれども、最初に考え方として予算の取り方が少なすぎたのか、それか時間外に仕事をしないといけない、予想外に仕事が出たのか。

大谷大学推進室長 この時間外の予算要求をした際には、当時の大学推進室のメンバーということで、専任の技術屋さん等で大学推進室の中でやるということで、通常それ一つの業務ということになりましたが、4月の人事異動に伴いまして、設計業務をされる担当職員等が大学推進室からいなくなって、建設部のほうにそういった事業を委任することになりました。その関係でちょっと職員の構成が変わりましたので時間外がちょっと増えてきたということと、あと建設工事の遅れ等でA棟のほうが遅れ

たということで、その4月・5月に完成のための資料作りとかの関係の作業が4月・5月でちょっと集中したということで、当初の予算でちょっと想定しておりませんでしたので、その関係でちょっと足りなくなつたと。本来であれば、当初予算70万円でそれを超えるような時間外の補正ということは適切ではないと思っておりますが、ちょっとそういう事情がありまして、このたび補正をさせていただくものです。

笹木慶之委員 寄附金のことについてお尋ねしますが、寄附金は15ページの総務費寄附金の中で100万円が入っていると思うんです。歳出のほうで説明されましたが、250万円。先ほどの説明の中で平成28年度、平成29年度のいわゆる過年度分処理が150万円あるということなんですが、これはどこに入っていたんですか。

山本大学推進室室長補佐 今年度収入しなかった、要は過年度収入した寄附金については、前年度及び前々年度の会計から繰り越されているということで、このたび16、17ページにあります前年度繰越金の中に150万円が含まれていると理解していただけたらと思います。

笹木慶之委員 数字はどれですか。

山本大学推進室室長補佐 17ページの上から二番目にある前年度繰越金です。

笹木慶之委員 そうすると、過年度については収入と支出のバランスが取れていなかったわけね。振替はしていなかったわけですね。

山本大学推進室室長補佐 過年度については、いずれも平成28年度、29年度に頂いた寄附金は、年度末で補正が間に合わないようなタイミングで頂きましたので、通常であればおっしゃるように歳入と歳出、例えば寄附金を頂いて基金に積むといった予算措置をするところではありますが、そういったいとまがなく決算で収入したということですので、決算で余

剰したものを繰り越して今年度である平成30年度の会計に入ってきたと理解しています。

笹木慶之委員 そうすると、分かりやすく言えば過年度収入という形で受け止めたと、決算時点で。過年度分の処理ということで、結果的に決算に入ってきたとしか考えようがない。でないと、通常は歳入したものについては歳出で必ず振り分けて積み立てるというルールを取りますから、それでいいんですかね。

山本大学推進室室長補佐 過年度収入がどういったものを指すかというのはちょっといろいろあるかと思いますが、いずれにしても前年度の会計から繰り越された余剰金の中にそれが含まれて本日まで来たということで、それをこのたび予算上は平成30年度の会計に、前年度繰越金という形で歳入しましたので、そこから150万円出ているという認識です。

笹木慶之委員 いたら心配することもないと思うんですが、要は歳計外との問題があって、そこは微妙なところがあるんですよね。だから、通常は収支のバランスが取れていなくてはならんわけで、いなかった場合には、る言われたけれども実質的には過年度処理みたいなもんだと理解したいと思いますが、いいんですかね。

山本大学推進室室長補佐 それで結構だと思います。

山田伸幸委員 先ほど薬草園の管理棟ですか、ここが高力ボルトの品薄ということだったんですが、こういう事態はほかのところでも出ておまして、大分大きな問題になってきているんですが、C棟とか危険物倉庫ではそういう問題は全くなかったということよろしいでしょうか。

榎坂大学推進室副室長 問題はありませんでした。工事のほうも順調に完成しました。

山田伸幸委員 それと、いろいろ出て、テニスコートの整備が一番最後になるうかと思うんですが、これでいくと平成31年8月、これで全て薬学部の工事あるいはグラウンドの整備は終わりと考えてよろしいでしょうか。

大谷大学推進室長 グラウンドとテニスコートについては、債務負担行為で来年の8月まで調査設計を行うということで、それが終わってから実際に工事に取り掛かるということになるうかと思いますので、それ以降に工事に取り掛かるということになります。

奥良秀委員 グラウンドの土が、以前は汚染されているとかいろいろそういうお話があったんですが、今どういう経過になっているか説明していただくことができますか。

大谷大学推進室長 今、盛り上がっている残土の関係ですね。（「はい」と呼ぶ者あり）これについては、それも含めて処理の仕方を今後検討していくと。グラウンド・テニスコートの調査設計の中で併せて検討してまいりたいと考えております。

奥良秀委員 では、今何もしていない、放置という状況でよろしいですね。

榎坂大学推進室副室長 残土については、できるだけ場内で使用できるように設計業務の中で考えていきたいと思っております。

山田伸幸委員 グラウンド整備のことなんですけれど、近年のグラウンドっていうのは土ではなくて芝が多く進んでいるんですけれど、この山口東京理科大学のグラウンドは土のままむき出しの、そういうグラウンドで行うということでしょうか。

泉本大学推進室技監 今おっしゃったとおり、元が土の状態ですので、今回も

土の状態で仕上げようとは考えています。ただ、この辺につきましては、大学とも協議しながらと考えております。

中村博行委員 資料2によると先ほど説明があったように、調査設計等々で8月までというふうな表示がしてありますが、最終的に完全に大学の設備等が全部完了するのは、いつごろと考えたらよろしいですか。

大谷大学推進室長 既に全て遅れている状況でございますので、できれば1日でも早く完成を目指したいとは考えています。この調査設計の内容につきまして、固めてすぐできるのであれば、また9月に補正を計上させていただきまして、すぐに起工・着工を行って行って、その工期が実際整備の仕方によってどれくらい掛かるかということになるかと思っておりますので、気持ちとしては平成31年度にできるようにいければいいなと思っておりますが、なかなかその整備の状況等ではちょっとまだ未定な部分がありますので、気持ちとしては1日も早くということやっていきたいと考えております。

松尾数則委員 高力ボルトが入らないということで工期が延びるということなんですが、それ以外の方法、例えば溶接でするといったことも当然考慮されたのかどうかお聞きしたい。

榎坂大学推進室副室長 薬草園の温室についてですけれども、これは既製品といますかある程度出来上がったものがありますので、それを使用したいと考えております。その中に今言われた高力ボルトがありますので、できるだけ既製品で経済的に施工したいと思っております。今言われたように高力ボルトに代わる物ということであれば溶接等がありますけれども、昨今、溶接をされる方が非常に少なく、実際に現場に入れるということが少ない状態ですので、できるだけ今の高力ボルトを使った既製の温室を施工したいと考えています。

山田伸幸委員 温室というのは、学校の先生からそういうのでいいよということなんでしょうか。

大谷大学推進室長 構内の薬草園の整備についても、今大学の担当の先生方と協議を重ねておりまして、その温室等についてもこういったものということでお聞きをしていますので、その中で整備を進めていきたいと考えています。

高松秀樹分科会長 ほかに質疑はありますか。いいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、これで質疑を終結します。ということで、一般会計予算決算常任委員会理科大分科会をこれで閉じます。お疲れ様でした。

午前10時29分 散会

平成30年（2018年）12月7日

一般会計予算決算常任委員会理科大分科会長 高松秀樹